

様式第 4 号

課題名	当院で予期せぬ心停止や呼吸停止に至った、あるいはその状態が非常に強く心配された事例における早期警告スコア（NEWS）の活用について
承認番号	2020-23 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 看護部 氏名 佐藤 里美
研究期間	(西暦) 2020 年 9 月 ~ (西暦) 2021 年 2 月
研究の意義・目的	心停止前の適切な対処により、心停止が回避できると言われており、その一助として早期警告スコア（NEWS）というものがあります。当院入院患者で予期せぬ心停止や呼吸停止に至った事例、あるいはその状態が非常に強く心配された事例を NEWS に当てはめ、看護上の課題を見出すことを目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>当院では患者様が予期せぬ心停止や呼吸停止に至った場合、あるいはその状態が非常に強く心配される場合に、当院職員の発令によって、速やかに多くの医療従事者を収集し、適切で迅速な対応をするシステムがあります。</p> <p>対象期間 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の間に、入院患者様に対して発令された事例を対象に、発令前の血圧・心拍数・呼吸数・体温・意識レベル・酸素飽和度・酸素投与の有無の 7 項目を NEWS にあてはめ点数化します。その点数を元に、発令何時間前から血圧や心拍数などに兆候が見られていたか調査します。また、NEWS ではその点数により、適切な血圧・心拍数・呼吸数・体温・意識レベル・酸素飽和度の測定間隔が示されており、それに沿った行動がとれていたか調査します。また、その過程で見えてきた課題を明確にしていきます。</p>
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	情報は匿名化をし個人が特定できないようにします。また、得た情報はこの研究においてのみ使用致します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	性別・年齢・入院病棟・入院診療科・体温・呼吸数・血圧・心拍数・意識レベル・酸素飽和度・酸素投与の有無を使用致します。
試料・情報を 利用する者の範囲	研究者は、共同研究者含め看護師 3 名です。
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 看護部 佐藤里美
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1</p> <p>横浜市立みなと赤十字病院 所属 看護部 氏名 佐藤里美</p> <p>TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>

